

甲州市 ケカチ遺跡・后畑西遺跡 遺跡調査現地説明会

平成 28 年 7 月 16 日 (土) 10:00 ~

所在地：甲州市塩山下於曾・熊野地内

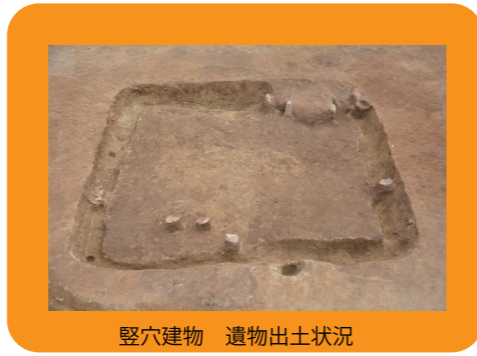
調査原因：市道下塩後 22 号線建設

主催：甲州市教育委員会

協力・調査担当：昭和測量(株)文化財調査課



ケカチ遺跡G地区 全景



竪穴建物 遺物出土状況



竪穴建物 遺物出土状況



后畑西遺跡C地区 全景



馬？下顎骨出土状況



竪穴建物 遺物出土状況

現在調査中
ケカチ遺跡G地区

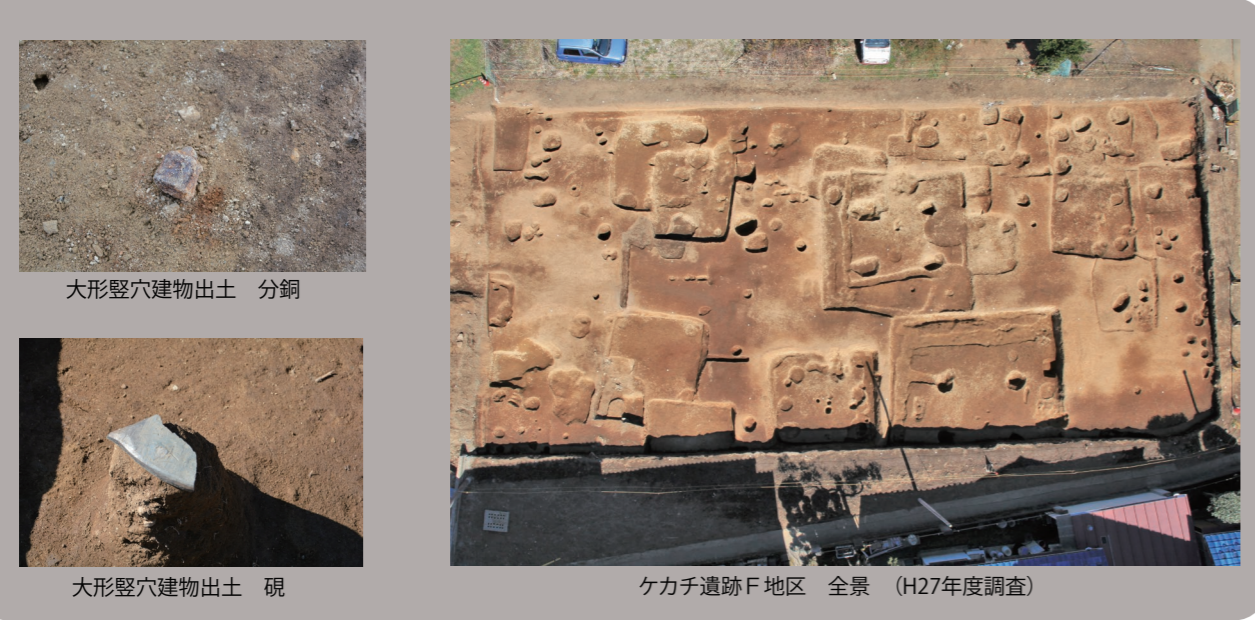
現在調査中
后畑西遺跡C地区



区画溝(西側) 遺物出土状況



区画溝(東側) 遺物出土状況



ケカチ遺跡F地区 全景 (H27年度調査)



大形竪穴建物出土 分銅



大形竪穴建物出土 硯

市道下塩後 22 号線ケカチ他遺跡発掘調査

市道下塩後 22 号線の建設工事に先立ち平成 27 年 9 月より遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行っています。

ケカチ遺跡と后畑西遺跡では主に平安時代(1,200 ~ 1,000 年前頃)の村の跡がみつかりました。昨年度の調査でみつかった竪穴建物(※当時の一般的な住居、図中の■)は 80 軒近くにおよび、現在調査中のものも含めると 100 軒程度になると見込まれます。

当時の村人たちの日常生活で使用された土器が多く出土した他、墨書土器(墨で文字や記号が記された土器)もみつっています。また、平成 27 年度の調査では、硯(すずり)や分銅が出土しています。これは当時の村人の中に文字を記し重さを記録していた人物がいたことを示すもので県内でも出土例の少ない大変貴重な遺物です。現場での調査はまもなく終了となり、今後は遺構・出土物の記録の調査・分析を進め、甲州市の歴史の一端を明らかにするための整理作業が行われる予定です。